



# 2009年3月期 決算説明会

2009年 5月19日

(JASDAQ・コード番号5999)

 **イハラサイエンス株式会社**

# 2009年3月期 決算説明会 説明項目

---



- 2009年3月期 決算概要
- 2010年3月期 通期業績予想
- 2010年3月期 基本戦略



# 2009年3月期 決算概要

# 決算要約【連結】



(単位：百万円)

	2008/3月期	2009/3月期	対前年比 増 減	対前年 増減率
売上高	13,805	10,673	▲3,132	▲22.7%
経常利益	2,675	1,411	▲1,264	▲47.2%
当期純利益	1,455	727	▲728	▲50.1%

# 2009年3月期に行なったこと - 1



- ① 売上が60%減でも赤字にならない体質
- ② 3月に全事業所 納期遵守率100%達成
- ③ プライシング GP事業部中心に一部8%値上
- ④ 自社製設備
  - ・90° フレアマシン
  - ・NCベンダー

# 2009年3月期に行なったことー2



- ⑤ NNT化の推進
- ⑥ 配管設計のプロ集団設立 “IPEC”  
(Ihara Piping Engineering Center)
- ⑦ 新加工技術開発 JH法
- ⑧ 価値創造集団へのチャレンジ  
愛媛大へ寄付講座開設
- ⑨ 新製品開発の推進



# 2010年3月期 業績予想

# 通期業績予想【連結】



( 単位 : 百万円 )

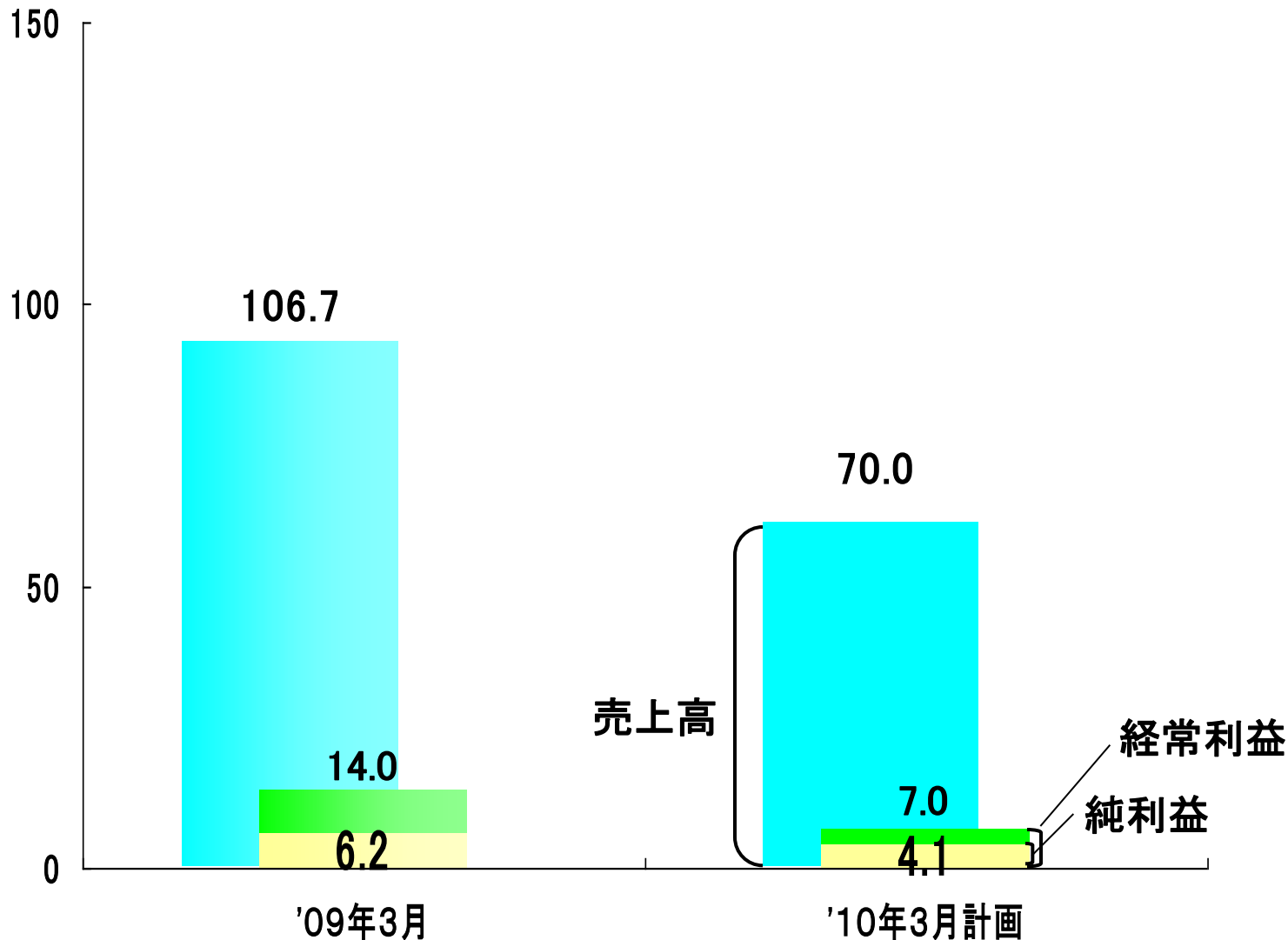
	2009/3月期 (実績)	2010/3月期 (計画)	対前年比 増 減	対前年 増減率
売上高	10,673	7,000	▲3,673	▲34.4%
経常利益	1,411	700	▲711	▲50.4%
当期純利益	727	410	▲317	▲43.6%



# 通期業績予想【連結】



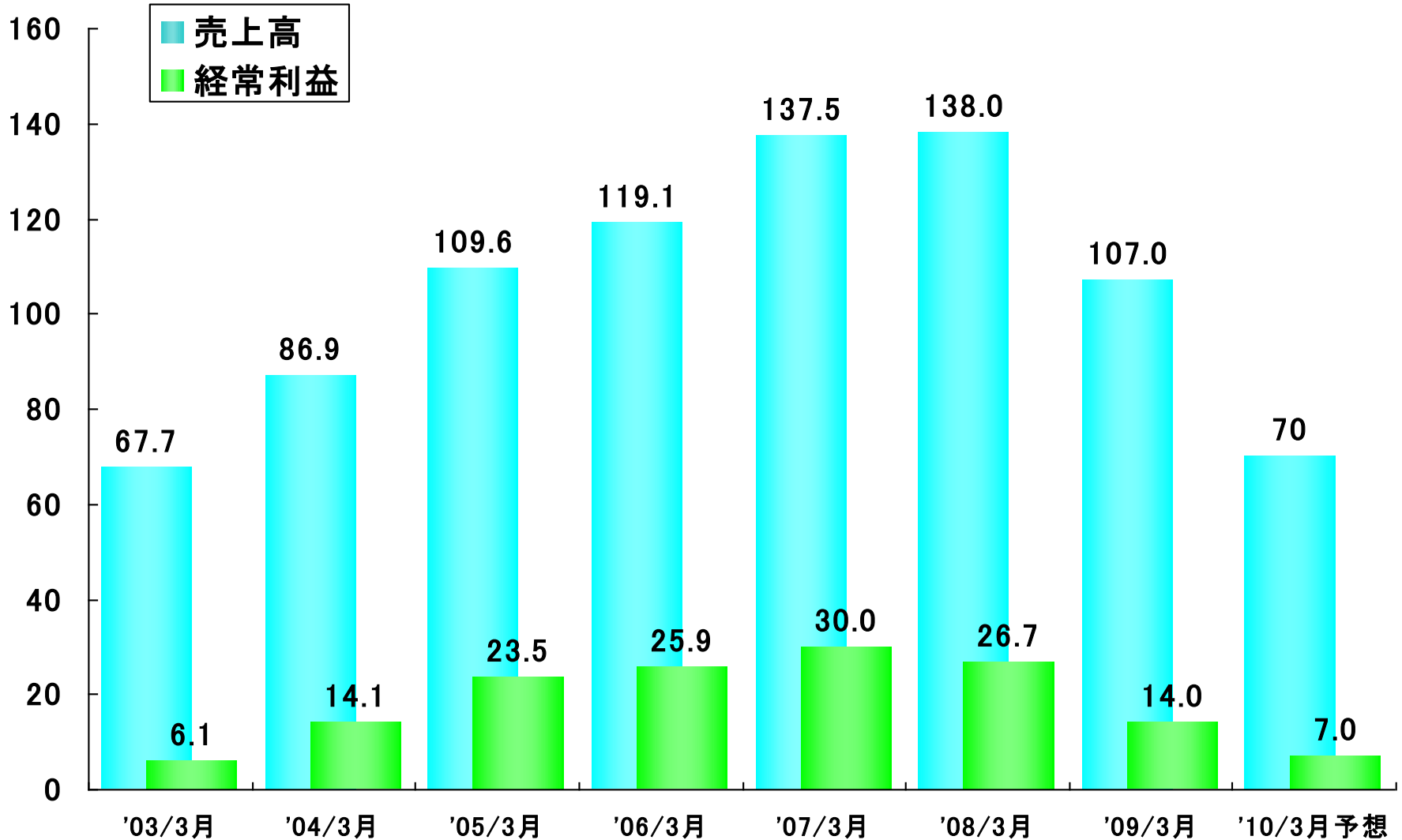
(単位：億円)





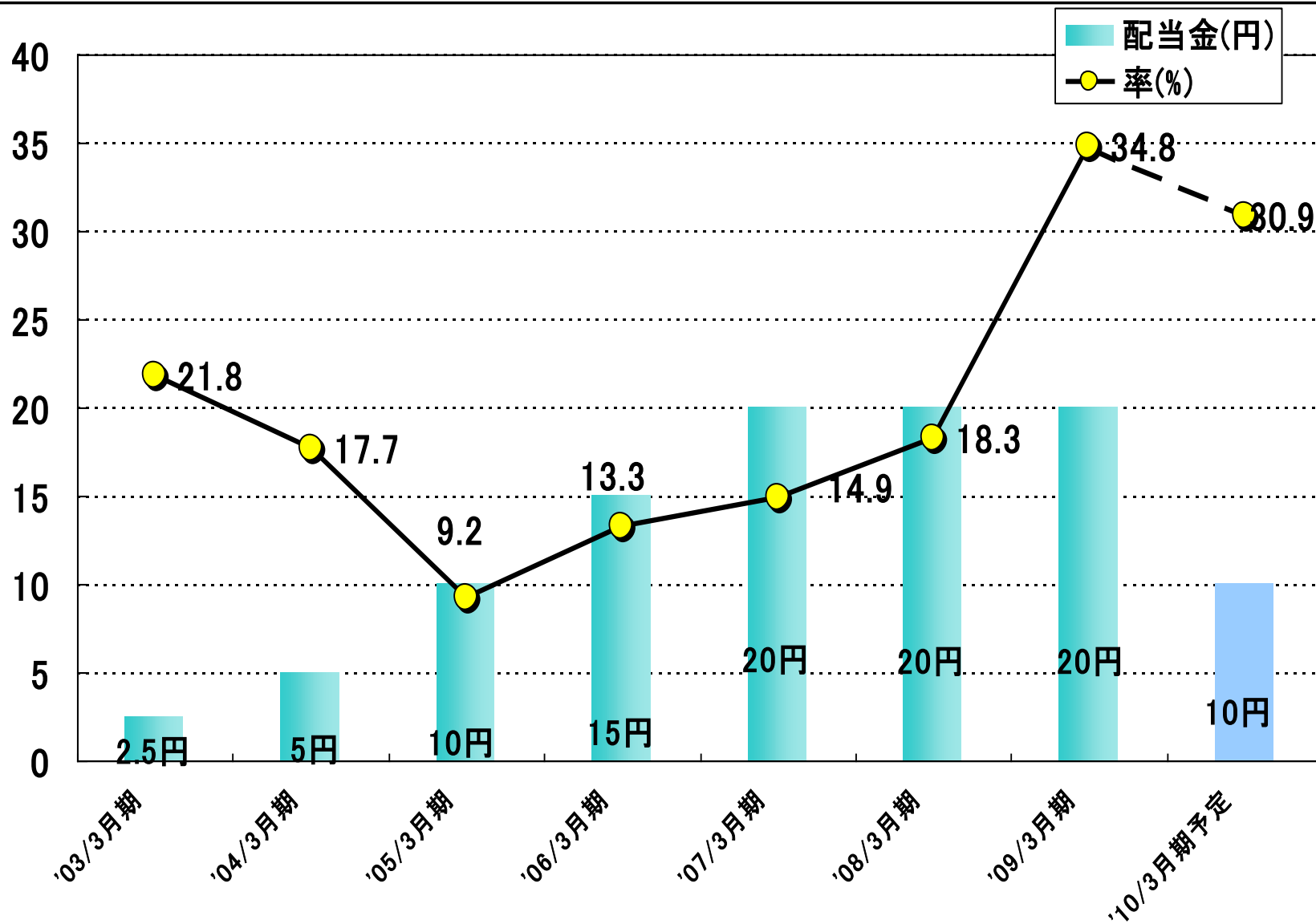
# 通期売上高・経常利益【連結】の推移

(単位：億円)





# 配当／株【連結】・配当性向





# 2010年3月期 基本戦略

- ・3月を底に必要なモノは生産する動き。
- ・ただし、大きく伸びることはない。  
鍋底景気がしばらく続く。
- ・今期中に前上期△50%位まで戻るか。

## 1. 30%の売価ダウンの吸収

- ① 材料費の削減(値下+塑性加工化)
- ② 生産性の向上 20%以上

## 2. シェアアップ

- ・安・特・少・短へ100%対応
- ・最適配管請負業



<http://www.ihara-sc.co.jp>

TEL:03-5742-2701 FAX:03-5742-2233

E-mail:webinfo@ihara-sc.co.jp

本資料に記載されております将来の業績の見通しなどにつきましては、当社(連結子会社を含む)が、現在入手している情報や事業方針など一定の前提に基づいて作成しております。

従いまして、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需要変動、素材の高騰、新技術の開発などにより、実際の業績、展開が大きく変動するなどのリスクや不確実性を含んでおりますので、投資判断をなされます場合には、本資料のみに依拠することは、お控えくださいますよう、お願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上、その手続が必要となる場合を除き、事前予告なく変更することがありますので、ご了承くださいますよう、お願い申し上げます。